

エイズ発生動向調査について

1 開 始

昭和 59(1984)年 9 月

2 根 拠

現在、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）」（以下「感染症法」という。）において、後天性免疫不全症候群は第五類感染症として位置づけられている。

そのため、エイズ発生動向調査は感染症法に基づく感染症発生動向調査の一部として整備されている。

3 報告対象

H I V感染者及びエイズ患者

※感染症法に基づく報告の累計であり、現時点での感染者数は不明

4 報告経路

- ① H I V感染者あるいはエイズ患者を診断した医師は「後天性免疫不全症候群発生届（H I V感染症を含む）」（以下「発生届」という。）を 7 日以内に最寄りの保健所長に提出する。
- ② 保健所はオンラインを通して、都道府県等（都道府県、保健所を設置する市および特別区をいう。以下同じ。）及び中央感染症情報センター（国立感染症研究所感染症情報センター内）に報告する。
- ③ 四半期に一度、エイズ動向委員会（※）を開催し、四半期ごとの報告数を公表し、年に一度、年報を作成する。

※ エイズ動向委員会とは

H I V感染拡大防止に資することを目的に、エイズ発生動向及び全国の保健所等で行われたH I V検査、相談件数の状況について総合的に分析するため、四半期ごと（年 4 回）に開催している。

5 病変報告（任意報告）

感染症法に基づく報告は初回報告のみであるが、平成 11 年 3 月 19 日健医疾発第 30 号厚生省保健医療局エイズ疾病対策課長通知「後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）発生届に係る病状に変化を生じた事項に関する報告について」により、発生届が提出されたH I V感染者及びエイズ患者に病状の変化（H I V感染者がエイズ発症又は死亡、エイズ患者が死亡）があった場合、診断した医師は任意に「エイズ病原体感染者報告票（病状に変化を生じた事項に関する報告）」を保健所に提出し、都道府県等にてとりまとめられ、厚生労働省健康局疾病対策課に報告することとされている。

後天性免疫不全症候群発生届（H I V感染症を含む）

都道府県知事（保健所設置市・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第4項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名 _____ 印
(署名又は記名押印のこと)

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) _____ () _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類			
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・感染症死亡者の死体			
2 性別	男 ・ 女	6	1) 有
3 診断時の年齢	歳		
4 病名	1) 無症候性キャリア 2) AIDS 3) その他 ()		
5-1 診 断 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・抗HIV抗体スクリーニング検査 1)ELISA法 2)PA法 3)IC法 4)その他 () ・確認検査 1)Western Blot法 2)IFA法 3)その他 () ・病原検査 1)HIV抗原検査 2)ウイルス分離 3)PCR法 4)その他 () ・18か月未満の児の免疫学的所見 () (該当するもの全てに○をすること) 	診 断 時 の 症 状	2) 無 (無症候性キャリアの場合は、当欄の記載は不要)
	7 発病年月日 (AIDSの指標疾患(5-2)の発病日)	平成 年 月 日	7 発病年月日 (AIDSの指標疾患(5-2)の発病日)
8 初診年月日	平成 年 月 日	8 初診年月日	平成 年 月 日
9 診断(検案※)年月日 (AIDSの場合は指標疾患(5-2)の診断日)	平成 年 月 日	9 診断(検案※)年月日 (AIDSの場合は指標疾患(5-2)の診断日)	平成 年 月 日
10 感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日	10 感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日
11 死亡年月日 ※	平成 年 月 日	11 死亡年月日 ※	平成 年 月 日

5-2 A I D S と 診 断 し た 指 標 疾 患 該 当 す る 全 て に ○	1) カンジダ症（食道、気管、気管支、肺） 2) クリプトコッカス症（肺以外） 3) コクシジオイデス症（①全身に播種したもの ②肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの） 4) ヒストプラズマ症（①全身に播種したもの ②肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの） 5) ニューモシスティス（カリニ）肺炎 6) トキソプラズマ脳症（生後1か月以後） 7) クリプトスポリジウム症（1か月以上続く下痢を伴ったもの） 8) イソスポラ症（1か月以上続く下痢を伴ったもの） 9) 化膿性細菌感染症（13歳未満で、ヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により①敗血症 ②肺炎 ③髄膜炎 ④骨関節炎 ⑤中耳・皮膚粘膜以外の部位や深在臓器の膿瘍のいずれかが、2年以内に、二つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの） 10) サルモネラ菌血症（再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く） 11) 活動性結核（肺結核又は肺外結核） 12) 非結核性抗酸菌症（①全身に播種したもの ②肺、皮膚、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの） 13) サイトメガロウイルス感染症（生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外） 14) 単純ヘルペスウイルス感染症（①1か月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を呈するもの ②生後1か月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの） 15) 進行性多巣性白質脳症 16) カポジ肉腫 17) 原発性脳リンパ腫 18) 非ホジキンリンパ腫（LSG分類により ①大細胞型、免疫芽球型 ②Burkitt型） 19) 侵潤性子宮頸癌 20) 反復性肺炎 21) リンパ性間質性肺炎／肺リンパ過形成：LIP／PLH complex（13歳未満） 22) HIV脳症（認知症又は亜急性脳炎） 23) HIV消耗性症候群（全身衰弱又はスリム病）
--	--

12 感染原因・感染経路・感染地域 ①感染原因・感染経路（確定・推定） 1) 性行為感染 ア. 異性間性的接触 イ. 同性間性的接触 2) 静注薬物使用 3) 母子感染 4) 輸血 5) その他（ ） 6) 不明 ②感染地域（確定・推定） 1) 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2) 国外（ 国 詳細地域 ） 3) 不明	13 感染症のまん延及び当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項 ①最近数年間の主な居住地 1) 日本国内（ 都道府県） 2) その他（ 国） 3) 不明 ②国籍 1) 日本 2) その他 3) 不明
---	--

この届出は診断から7日以内に行ってください

（1、2、4から6、12、13欄は該当する番号等を○で囲み、3、7から11欄は年齢・年月日を記入すること。※欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。）

エイズ病原体感染者報告票（病状に変化を生じた事項に関する報告）

都道府県知事（保健所設置市長、特別区長）殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条に規定により報告された症例について、病状に変化を生じたので、次のとおり報告する。

病状の変化	<p>1 HIV無症候性キャリア等→AIDS</p> <p>・AIDSと診断した年月日 ____年 ____月 ____日</p> <p>・AIDSと診断した指標疾患（該当するものすべてに○をつける）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カンジダ症（食道、気管、気管支、肺） 2. クリプトコッカス症（肺以外） 3. コクシジオイデス症（①全身に播種したもの ②肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの） 4. ヒストプラズマ症（①全身に播種したもの ②肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの） 5. ニューモシスティス肺炎 6. トキソプラズマ脳症（生後1か月以後） 7. クリプトスポリジウム症（1か月以上続く下痢を伴ったもの） 8. イソスポラ症（1か月以上続く下痢を伴ったもの） 9. 化膿性細菌感染症（13歳未満で、ヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により、①敗血症 ②肺炎 ③髄膜炎 ④骨関節炎 ⑤中耳・皮膚粘膜以外の部位や深在臓器の膿瘍のいずれかが、2年以内に、二つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの） 10. サルモネラ菌血症（再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く） 11. 活動性結核（肺結核又は肺外結核） 12. 非結核性抗酸菌症（①全身に播種したもの ②肺、皮膚、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの） 13. サイトメガロウイルス感染症（生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外） 14. 単純ヘルペスウイルス感染症（①1か月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を呈するもの ②生後1か月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの） 15. 進行性多巣性白質脳症 16. カボジ肉腫 17. 原発性脳リンパ腫 18. 非ホジキンリンパ腫（L S G分類による ①大細胞型、免疫芽球型 ③Burkitt 型） 19. 浸潤性子宮頸癌 20. 反復性肺炎 21. リンパ性間質性肺炎／肺リンパ過形成：L I P／P L H complex（13歳未満） 22. H I V脳症（認知症又は亜急性脳炎） 23. H I V消耗性症候群（全身衰弱又はスリム病） <p>※ 11 活動性結核のうち肺結核及び19 浸潤性子宮頸癌については、H I Vによる免疫不全を示唆する症状または所見が見られる場合に限る。</p>					
	<p>2 生存 → 死亡</p> <p>・死亡した年月日 ____年 ____月 ____日</p> <p>・死亡の原因 1 A I D Sが原因の死亡</p> <p style="padding-left: 20px;">2 それ以外の原因による死亡（ _____ ）</p>					
国 籍	1 日本	2 その他（ _____ ）	性別	1 男性 2 女性	年齢	才
前回報告時の臨床診断	1 無症候性キャリア 2 A I D S 3 その他（ _____ ）					
感染者と診断した年月日	年 月 日					
備考						
医療機関名			医療機関の所在地	〒 _____		
診断医師名			電話番号	電話（ _____ ）		
報告年月日	年 月 日					

エイズ患者・HIV感染者報告数、検査相談検査件数推移(H 2 2 年のみ速報値)

HIV感染者・エイズ患者報告数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22 (速報値)	合計
39	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	453	5,783
78	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,050	12,623
117	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,503	18,406

<上段:エイズ患者報告数 中段:HIV感染者報告数 下段:エイズ患者・HIV感染者の合計>

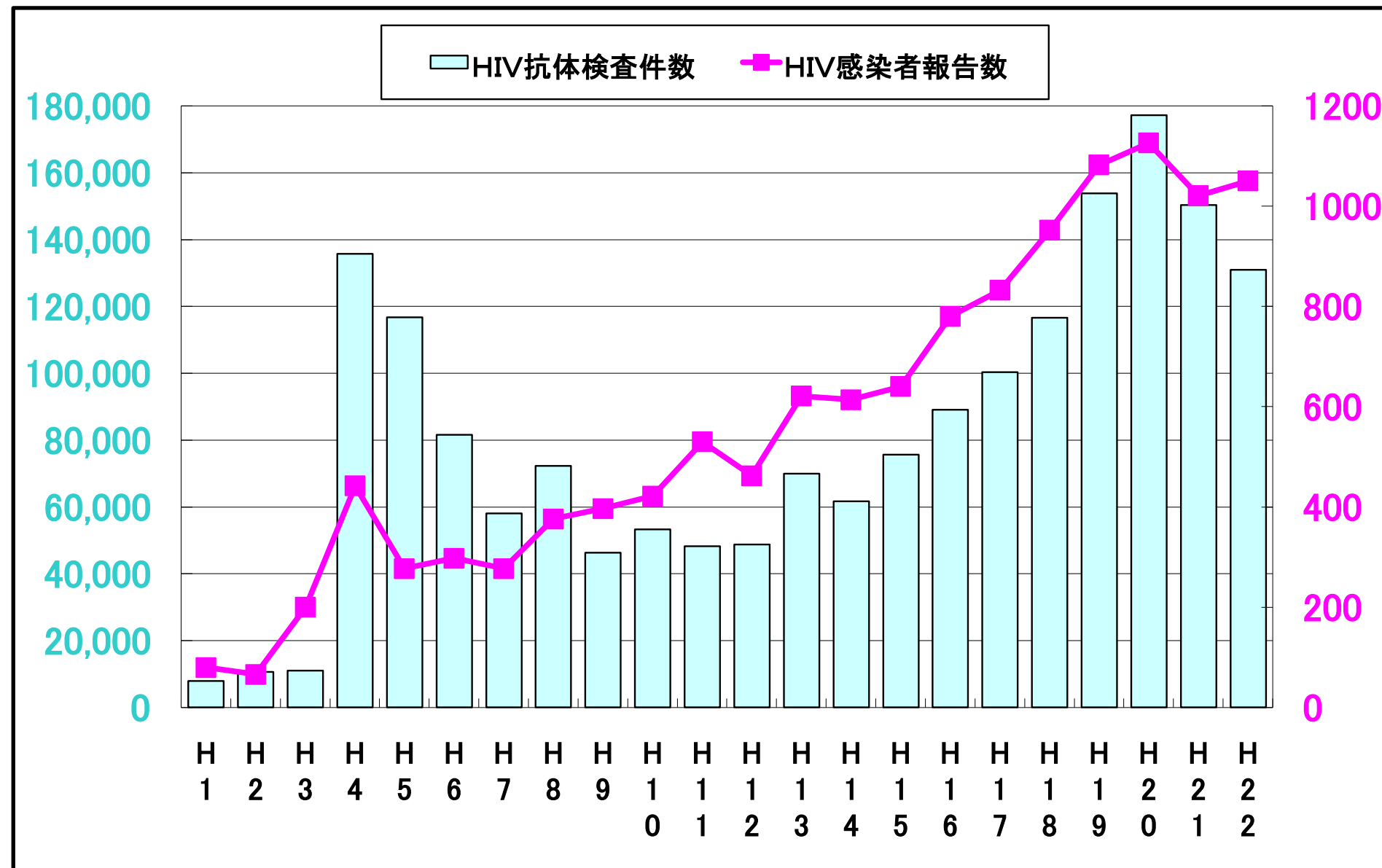
保健所等におけるHIV抗体検査件数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	合計
47,470	7,864	10,649	10,980	135,674	116,712	81,495	57,978	72,186	46,237	53,218	48,218	48,754	69,925	61,652	75,539	89,004	100,287	116,550	153,816	177,156	150,252	130,930	1,862,546

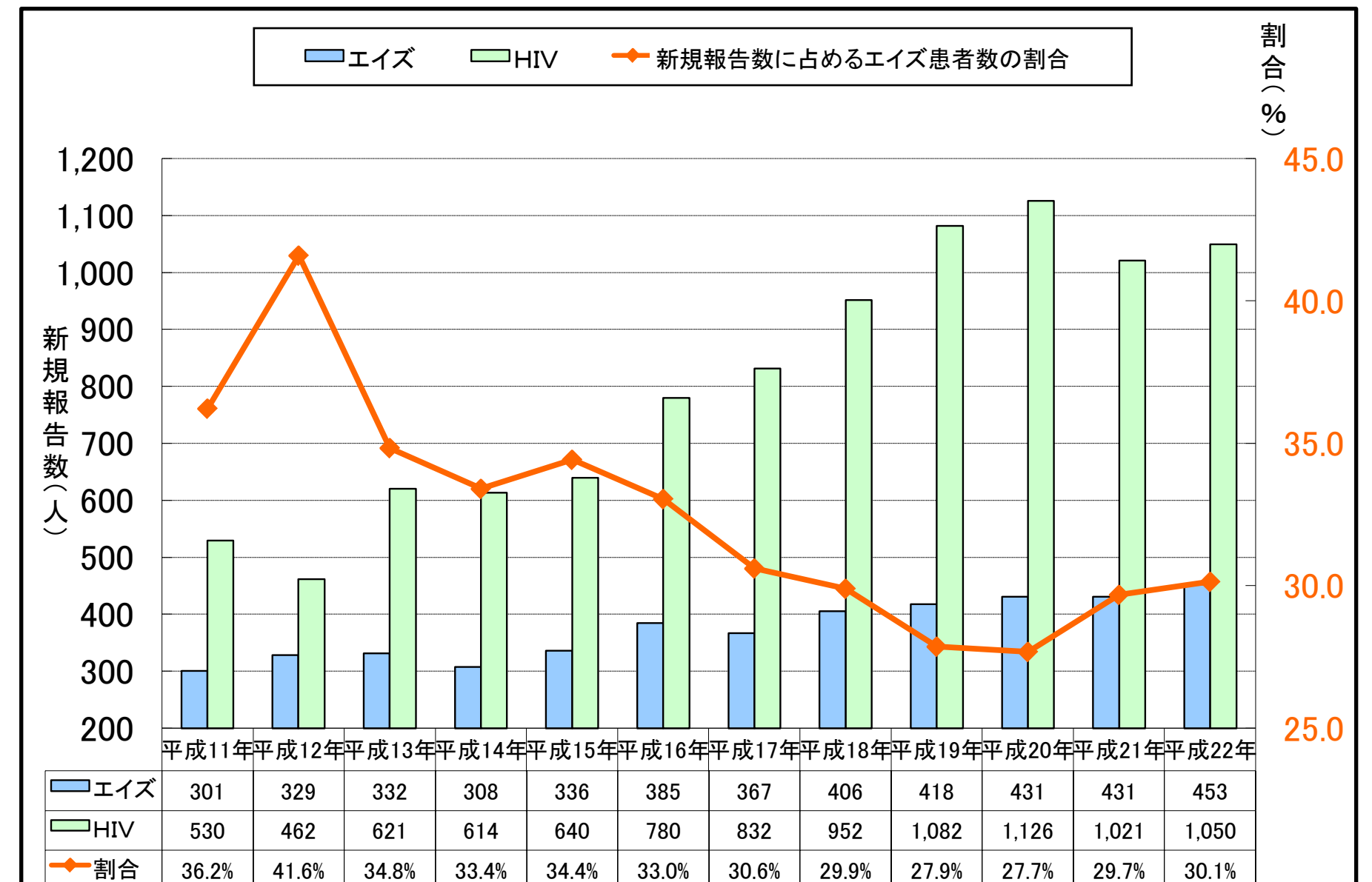
保健所における相談件数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	合計
132,004	14,603	17,458	18,002	251,926	245,299	175,837	124,735	172,641	96,735	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911	130,153	146,585	161,474	173,651	214,347	230,091	193,271	164,264	3,234,774

保健所等におけるHIV抗体検査件数、HIV感染者報告数



新規感染者・患者報告数に占めるエイズ患者数の割合(過去10カ年の推移)



H I V感染者・エイズ患者報告数5カ年比較 (平成22年のみ速報値)

診断区分	項目	区分	日本国籍					外国国籍					合計				
			18年	19年	20年	21年	22年	18年	19年	20年	21年	22年	18年	19年	20年	21年	22年
HIV感染者	合計		836	969	1,033	932	975	116	113	93	89	75	952	1,082	1,126	1,021	1,050
感染経路	異性間の性的接触		173	182	189	180	167	50	39	31	30	24	223	221	220	210	191
	同性間の性的接触*1		571	692	743	659	698	33	37	36	35	31	604	729	779	694	729
	静注薬物使用		1	3	3	3	2	3	0	2	2	1	4	3	5	5	3
	母子感染		1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	その他*2		29	19	24	26	33	11	6	5	8	3	40	25	29	34	36
	不明		61	73	74	64	74	19	31	19	14	15	80	104	93	78	89
性	男		787	931	999	894	933	76	76	60	71	57	863	1007	1059	965	990
	女		49	38	34	38	42	40	37	33	18	18	89	75	67	56	60
年齢	10歳未満		1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	10～19		17	13	17	15	14	1	1	2	1	1	18	14	19	16	15
	20～29		227	288	304	279	294	37	28	29	24	30	264	316	333	303	324
	30～39		342	393	391	377	360	48	46	37	48	27	390	439	428	425	387
	40～49		147	169	181	149	174	17	30	21	8	13	164	199	202	157	187
	50歳以上		102	105	139	112	132	13	7	4	8	3	115	112	143	120	135
	不明		0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0
感染地	国内		769	894	944	833	857	59	55	39	41	37	828	949	983	874	894
	海外		31	44	31	28	37	32	51	25	18	15	63	95	56	46	52
	不明		36	31	58	71	81	25	7	29	30	23	61	38	87	101	104
エイズ患者	合計		355	365	378	401	422	51	53	53	30	31	406	418	431	431	453
感染経路	異性間の性的接触		123	122	120	120	115	17	32	27	12	11	140	154	147	132	126
	同性間の性的接触*1		156	152	182	205	213	8	5	7	5	6	164	157	189	210	219
	静注薬物使用		2	2	3	3	2	1	1	2	0	2	3	3	5	3	4
	母子感染		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他*2		14	25	10	14	15	1	4	3	1	2	15	29	13	15	17
	不明		60	64	63	59	77	24	11	14	12	10	84	75	77	71	87
性	男		335	343	359	386	408	33	34	32	21	27	368	377	391	407	435
	女		20	22	19	15	14	18	19	21	9	4	38	41	40	24	18
年齢	10歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～19		0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	1
	20～29		28	38	41	28	43	3	7	6	7	7	31	45	47	35	50
	30～39		128	121	115	151	139	21	24	20	13	9	149	145	135	164	148
	40～49		84	86	86	96	114	19	18	17	7	9	103	104	103	103	123
	50歳以上		115	120	135	126	125	8	4	9	2	6	123	124	144	128	131
	不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染地	国内		294	312	287	320	331	21	24	11	7	7	315	336	298	327	338
	海外		27	33	37	27	23	12	24	26	10	13	39	57	63	37	36
	不明		34	20	54	54	68	18	5	16	13	11	52	25	70	67	79

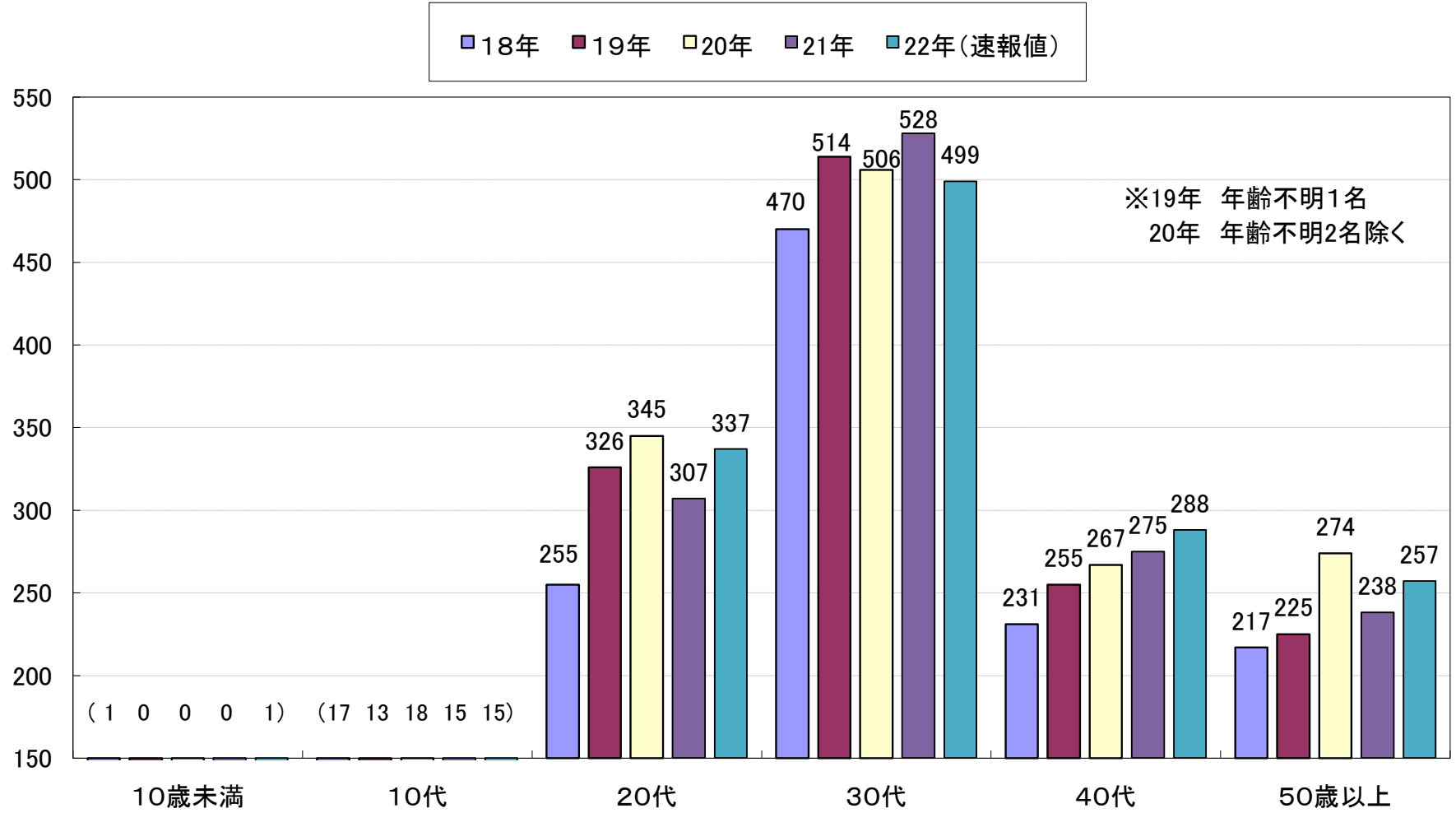
*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

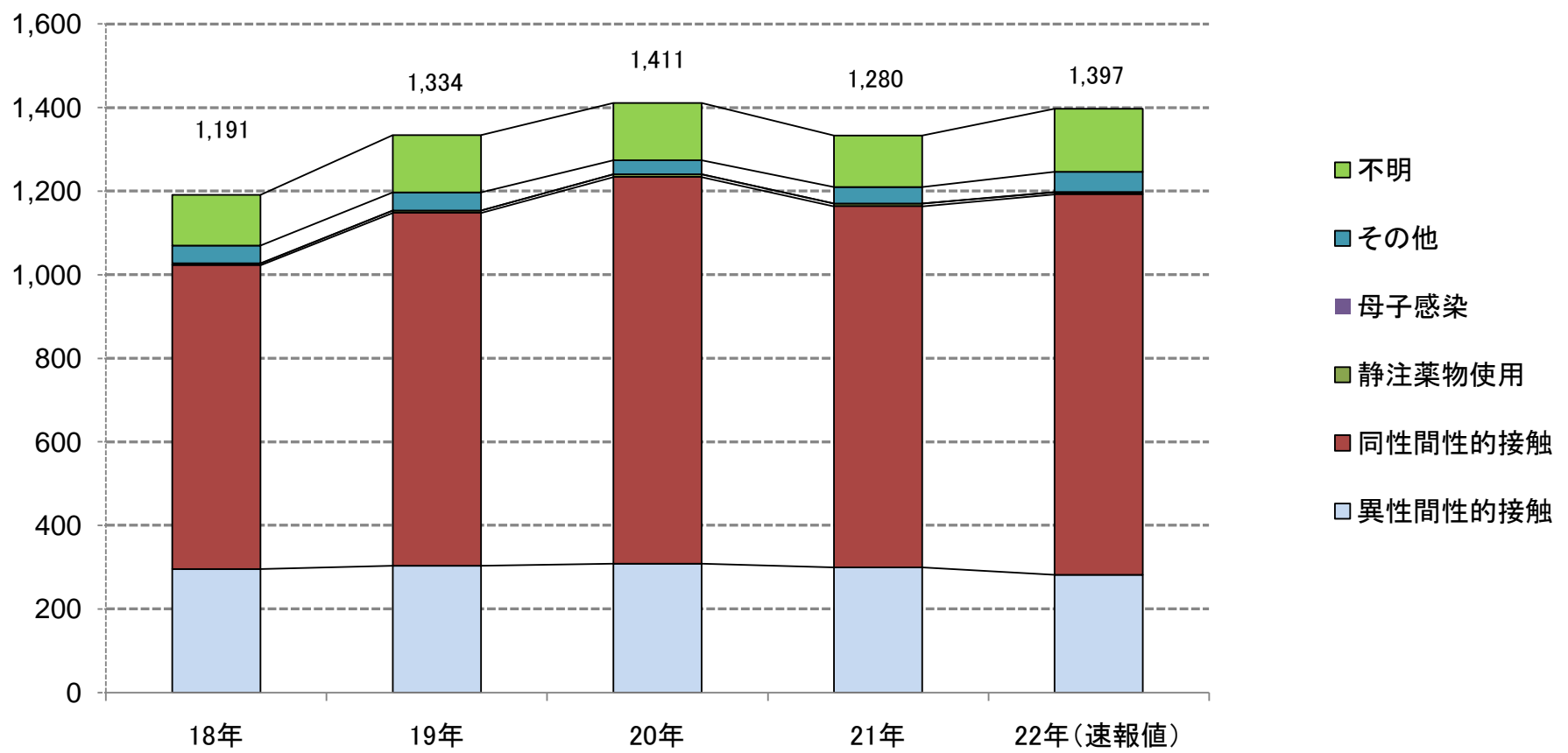
診断区分	項目	区分	日本国籍					外国国籍					合計				
			18年	19年	20年	21年	22年	18年	19年	20年	21年	22年	18年	19年	20年	21年	22年
HIV+エイズ	合計		1,191	1,334	1,411	1,333	1,397	167	166	146	119	106	1,358	1,500	1,557	1,452	1,503
感染経路	異性間の性的接触		296	304	309	300	282	67	71	58	42	35	363	375	367	342	317
	同性間の性的接触		727	844	925	864	911	41	42	43	40	37	768	886	968	904	948
	静注薬物使用		3	5	6	6	4	4	1	4	2	3	7	6	10	8	7
	母子感染		1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	その他		43	44	34	40	48	12	10	8	9	5	55	54	42	49	53
	不明		121	137	137	123	151	43	42	33	26	25	164	179	170	149	176
性	男		1,122	1,274	1,358	1,280	1,341	109	110	92	92	84	1,231	1,384	1,450	1,372	1,425
	女		69	60	53	53	56	58	56	54	27	22	127	116	107	80	78
年齢	10歳未満		1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	10～19		17	13	18	15	15	1	1	3	2	1	18	14	21	17	16
	20～29		255	326	345	307	337	40	35	35	31	37	295	361	380	338	374
	30～39		470	514	506	528	499	69	70	57	61	36	539	584	563	589	535
	40～49		231	255	267	245	288	36	48	38	15	22	267	303	305	260	310
	50歳以上		217	225	274	238	257	21	11	13	10	9	238	236	287	248	266
	不明		0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0
感染地	国内		1,063	1,206	1,231	1,153	1,188	80	79	50	48	44	1,143	1,285	1,281	1,201	1,232
	海外		58	77	68	55	60	44	75	51	28	28	102	152	119	83	88
	不明		70	51	112	125	149	43	12	45	43	34	113	63	157	168	183

H I V感染者・エイズ患者報告数5カ年比較 (平成22年のみ速報値)

日本国籍 年代別 5カ年比較 (HIV感染者 エイズ患者 計)



日本国籍 感染経路別 報告数推移(HIV感染者 エイズ患者 計)



病変死亡者の国籍別、性別、感染経路別の年次推移
(平成11(1999)年3月31日までの報告分)

国籍	性別	感染経路	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	合計	合計の%	
日本	男	異性間の性的接触					0	4	3	9	6	23	31	31	41	20	4	172	38.7	
		同性間の性的接触(男)*1					1	4	6	3	7	32	22	28	12	13	3	131	29.4	
		静注薬物使用					0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0.7
		母子感染					0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	0	7	1.6
		その他*2					0	1	1	0	1	3	1	1	1	1	2	0	11	2.5
	不明					2	4	7	6	8	16	13	26	22	9	8	8	121	27.2	
	合計					3	14	17	18	23	75	68	89	77	46	15	445	100		
	女	異性間の性的接触					0	0	0	1	3	3	4	5	5	2	2	2	25	62.5
		静注薬物使用					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		母子感染					0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.5
その他*2						0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	10.0	
不明						0	1	0	0	0	2	1	2	1	1	2	10	25.0		
合計					0	3	1	1	3	6	5	8	6	3	4	40	100			
外国	男	異性間の性的接触					0	1	0	1	2	3	2	7	6	0	0	22	28.6	
		同性間の性的接触(男)*1					0	1	2	0	0	2	3	1	0	0	0	9	11.7	
		静注薬物使用					0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	5	6.5	
		母子感染					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		その他*2					0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1.3	
	不明					0	1	2	1	3	7	1	4	8	11	2	40	51.9		
	合計					0	3	4	3	6	13	6	12	15	13	2	77	100		
	女	異性間の性的接触					0	0	0	0	2	1	1	3	3	1	1	12	35.3	
		静注薬物使用					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		母子感染					0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2.9	
その他*2						0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.9		
不明						0	0	0	0	2	3	2	4	3	4	2	20	58.8		
合計					0	0	0	0	4	5	3	7	7	5	3	34	100			
合計					3	20	22	22	36	99	82	116	105	67	24	596				

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

病変死亡者の国籍別、性別、年齢階級別の年次推移
(平成11(1999)年4月1日からの任意報告分)

国籍	性別	年齢階級	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	合計	
日本	男	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		10-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		20-29	0	3	3	1	2	0	1	3	0	0	0	0	1	13
		30-39	3	7	4	3	4	2	5	1	3	1	2	5	35	
		40-49	10	10	8	4	1	3	1	3	6	6	2	3	54	
		50歳以上	17	12	15	15	8	9	5	6	12	10	3	2	112	
	合計	30	32	30	23	15	14	12	13	21	17	8	11	215		
	女	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		10-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		20-29	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4	
30-39		0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3		
40-49		0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2		
50歳以上	1	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	7			
合計	2	3	4	0	0	2	2	2	1	0	0	0	16			
外国	男	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		10-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		20-29	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
		30-39	2	3	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	10	
		40-49	1	2	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	8	
		50歳以上	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	合計	6	5	4	1	4	0	0	1	2	1	0	0	24		
	女	10歳未満	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		10-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		20-29	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
30-39		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
40-49	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3			
50歳以上	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
合計	4	1	5	1	0	1	1	0	0	0	1	0	14			
合計	42	41	43	25	19	17	15	16	24	18	9	11	280			

平成23年2月7日(月)
 照会先：医薬食品局血液対策課
 担当者：難波江、馬場
 TEL:03-5253-1111(内線)2905,2904
 03-3595-2395(直通)

献血件数及びH I V抗体・核酸増幅検査陽性件数

年	献 血 件 数 (検 査 実 施 数)	陽性件数 () 内女性 [] 内核酸 増幅検査 のみ陽性	10万件 当たり
	件	件	件
1987年 (昭和62年)	8,217,340	11(1)	0.134
1988年 (昭和63年)	7,974,147	9(1)	0.113
1989年 (平成元年)	7,876,682	13(1)	0.165
1990年 (平成2年)	7,743,475	26(6)	0.336
1991年 (平成3年)	8,071,937	29(4)	0.359
1992年 (平成4年)	7,710,693	34(7)	0.441
1993年 (平成5年)	7,205,514	35(5)	0.486
1994年 (平成6年)	6,610,484	36(5)	0.545
1995年 (平成7年)	6,298,706	46(9)	0.730
1996年 (平成8年)	6,039,394	46(5)	0.762
1997年 (平成9年)	5,998,760	54(5)	0.900
1998年 (平成10年)	6,137,378	56(4)	0.912
1999年 (平成11年)	6,139,205	64(6)	1.042
2000年 (平成12年)	5,877,971	67(4) [3]	1.140
2001年 (平成13年)	5,774,269	79(1) [1]	1.368
2002年 (平成14年)	5,784,101	82(5) [2]	1.418
2003年 (平成15年)	5,621,096	87(8) [2]	1.548
2004年 (平成16年)	5,473,140	92(4) [2]	1.681
2005年 (平成17年)	5,320,602	78(3) [2]	1.466
2006年 (平成18年)	4,987,857	87(5) [1]	1.744
2007年 (平成19年)	4,939,550	102(3) [6]	2.065
2008年 (平成20年)	5,077,238	107(3) [0]	2.107
2009年 (平成21年)	5,287,101	102(6) [2]	1.929
2010年 (平成22年) (1~12月)	5,318,586 (速報値)	86(3) [1]	1.617

(注1)・昭和61年は、年中途から実施したことなどから、3,146,940件、うち、陽性件数11件(女性0)となっている。

(注2)・抗体検査及び核酸増幅検査陽性の血液は廃棄され、製剤には使用されない。
 ・核酸増幅検査については、平成11年10月より全国的に実施している。

(注3)・平成22年は、1月~12月の速報値で集計している。